

日本セラミックス協会関東支部若手研究発表交流会派遣を終えて

大阪大学大学院工学研究科博士前期課程 2 年

雨宮佑馬

この度、日本セラミックス協会関西支部のご支援により、2024 年 11 月 30 日に日本大学で開催された第 12 回日本セラミックス協会関東支部若手研究発表交流会に参加し、ポスター発表をさせていただきました。本交流会は若手研究者の「自由で活発な交流・交歓」を趣旨として掲げており、参加者全員がお互いの研究やキャリアを深く理解する場として企画されています。その言葉の通りに、本交流会への参加はポスター発表およびシュートプレゼンを通して、多くの先生方や他大学の学生とお話できた貴重な機会となりました。

本学会の特徴として、私は他分野の研究者方が 1 か所に集い、交流していることが挙げられると思いました。これまで、私が学会に参加した際は自身の研究テーマに近い水溶液プロセスの研究や資源環境分野の研究発表を優先的に聴講する傾向にありました。しかし、本交流会では私の研究テーマに近い内容のみならず、電池や生体関連材料、エンジニアリングセラミックスなどの他分野の研究も聴講でき、自身の研究に応用することはできないかと考えながら、見聞を広げることができました。そのため、私自身のポスター発表でも、思わぬ視点からの質疑をいただく場面も多かったです。また、本交流会では若手の先生方のポスター発表にも積極的に質問することができ、口頭発表の質疑では聞きにくかった些細な疑問や基礎的な質問を、長い発表時間を活かして心置きなく聞くことができました。ポスター発表は、本来の発表時間からその後の交流会まで時間枠を超えてお話することができ、質疑応答や先生方との意見交換を通して、日頃、研究活動で生じた疑問や仮説についてご意見を頂き多くの知見が得られました。さらに交流会の場では、博士後期課程に進学後の研究活動への助言や博士号取得後の進路選択について、先生方の経験談を踏まえて多くのお話を聞くことができました。

今回、私は関西支部からの派遣として参加させていただいたため、指導教員が同行しない初めての学会参加となりました。当初は大いに不安もありましたが、温かく迎え入れて下さり、和やかな雰囲気先生方と学生と交流し、学会を楽しむことができました。

博士前期課程の学生は、授業や就職活動等があり研究に専念できない部分も多くあると思います。しかし、私は本会のような若手研究者の意見を聞くことができる場で、研究だけでなく研究者の視点や多様な進路を知り、意見交換できる楽しさをぜひ知っていただきたいと思います。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けて頂きました関西支部の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今後も、多くの学生がこのような機会に恵まれることを願っております。

